

目次

イントロダクション

この本の概要	1
本書の特色	4
説得力をもつということ	8
本書の構成	11

第1章 現在の社会

経済と私たちの生活	14
私たちの社会意識	29

不合理が日本を衰退させている 37

社会の意識と政治 42

第2章 資本主義の社会とその思想 51

資本主義の社会 52

資本主義を礼賛する考え方の根拠 66

市場経済の裏面 72

第3章 社会主義という考え 83

資本主義社会を変革するアイデア 84

科学的社会主義——労働者の歴史的事業 89

社会主義の分裂と対立	105
------------	-----

論理と実証——どこまでも科学的に	114
------------------	-----

第4章 ソ連・東欧社会主義の崩壊を経験して	119
-----------------------	-----

ソ連・東欧社会主義の崩壊	120
--------------	-----

崩壊の原因——経済面	125
------------	-----

崩壊の原因——政治面	136
------------	-----

非コミンテルン系科学的社会主義の原点へ	139
---------------------	-----

第5章 これからの社会主義の像を考える	143
---------------------	-----

市民的権利の徹底	144
----------	-----

社会主義に必要なこと あってはならないこと 165

経済の制度はどうなるか 168

第6章 前へどう進むか 177

広く結集し核を固く 178

運動の歴史の知恵を継ぐ 192

あとがき 202